

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年11月8日

【四半期会計期間】 第9期第2四半期（自 2019年7月1日 至 2019年9月30日）

【会社名】 JALCOホールディングス株式会社

【英訳名】 JALCO Holdings Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 田辺 順一

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋二丁目16番11号

【電話番号】 050 - 5536 - 9824

【事務連絡者氏名】 管理本部長 松島 正道

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋二丁目16番11号

【電話番号】 050 - 5536 - 9824

【事務連絡者氏名】 管理本部長 松島 正道

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
  
( 東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号 )

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第8期 第2四半期 連結累計期間	第9期 第2四半期 連結累計期間	第8期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年9月30日	自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (千円)	532,358	807,676	1,158,375
経常利益 (千円)	164,003	300,068	433,656
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	143,555	258,373	408,980
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	141,577	249,482	408,535
純資産額 (千円)	4,949,224	8,965,110	8,726,572
総資産額 (千円)	16,282,939	26,412,540	19,496,442
1株当たり四半期(当期)純 利益金額 (円)	2.69	3.02	6.55
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	2.49	2.72	6.37
自己資本比率 (%)	30.39	33.59	44.28
営業活動によるキャッシュ・ フロー (千円)	2,002,052	2,335,844	668,263
投資活動によるキャッシュ・ フロー (千円)	34,906	3,759,334	5,173,745
財務活動によるキャッシュ・ フロー (千円)	1,886,178	6,343,638	4,455,989
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	306,262	656,009	407,550

回次	第8期 第2四半期 連結会計期間	第9期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 2018年7月1日 至 2018年9月30日	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	0.97	1.56

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスク、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当連結グループが判断したものであります。

#### (1) 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、前連結会計年度の3月に取得した3物件及び当第1四半期連結会計期間に取得した収益不動産、並びに新規営業貸付金の増加に伴い売上高8億7百万円（前年同期比51.7%増）、営業利益4億80百万円（前年同期比79.9%増）、経常利益3億円（前年同期比83.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億58百万円（前年同期比80.0%増）となり、いずれも前年同期比を大きく上回る結果となりました。

報告セグメントの業績は次のとおりでございます。

#### (貸金事業)

当事業部門におきましては、収益性及び担保価値等を十二分に吟味し、回収可能性等を慎重に検討した上で取り組んでおります。貸付期間については、1年以内の短期の貸付を中心に行っているため、期中における営業貸付金残高は増減致します。

当第2四半期連結累計期間において営業貸付金は、新規貸付37億71百万円、回収17億16百万円、純増20億55百万円により35億96百万円（前期末比133.4%増）まで増加しました。

営業貸付金の増加に伴い、当事業部門における売上高は、1億98百万円（前年同期比9.2%増）、セグメント利益は1億21百万円（前年同期比13.7%増）という結果となりました。

第3四半期以降におきましても、収益性及び担保価値等が十二分に見込める複数の貸付先において、資金需要が旺盛にあるため、ソーシャルレンディング事業を絡めて、資金需要に対応していく所存でございます。

#### (不動産賃貸業)

当事業部門におきましては、当第2四半期連結会計期間において岡山県の商業施設を新規取得し、収益不動産の保有残高は204億57百万円（前期末比23.4%増）となりました。前連結会計年度の2019年3月に取得した3物件及び第1四半期連結会計期間に取得した1物件も寄与し、当第2四半期連結累計期間において、当セグメントにおける売上高は6億8百万円（前年同期比73.9%増）、セグメント利益は2億12百万円（前年同期比71.2%増）となりました。

当社としては第3四半期以降も引き続き、長期・安定的な収益貢献が見込める案件については積極的に購入してまいります。

当社の収益不動産については、収益性の観点から購入依頼のご要望も多いことから、保有資産残高、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益を考慮しながら、収益不動産の入れ替えも図ってまいります。

また、慎重に見極めながらではありますが、売上高及び利益の増加に繋がる物流施設用不動産等の開発案件も手掛けていき、収益の増加に努めてまいります。

#### (2) 財政状態の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末と比較して30億14百万円増加し54億4百万円となりました。これは主に、営業貸付金が20億55百万円、物流施設用不動産取得のための仕掛販売用不動産が5億52百万円、グループ間の配当により発生した未収還付法人税等が1億74百万円及び現預金が2億48百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して39億3百万円増加し209億98百万円となりました。これは主に、山口及び岡山の商業施設向けの賃貸用不動産が39億6百万円増加したことなどによります。

以上により、当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して69億16百万円増加し264億12百万円となりました。

#### (負債)

前連結会計年度末と比較して当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、短期借入金等が48億64百万円増加し67億53百万円となり、固定負債は長期借入金が15億97百万円、新規賃貸借契約により長期預り保証金が2億15百万円増加したことなどにより18億13百万円増加し106億93百万円となりました。

借入金については主に収益不動産購入に伴う借入であります。

以上により、当第2四半期連結会計期間末の負債残高は、前連結会計年度末と比較して66億77百万円増加し174億47百万円となりました。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して2億38百万円増加し89億65百万円となりました。これは主に、自己株式の取得による自己株式34百万円の増加及びその他有価証券評価差額金8百万円の減少があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益2億58百万円を計上し、かつ、新株予約権行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ12百万円増加したことなどによります。

#### (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して2億48百万円増加し、6億56百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、23億35百万円の支出となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益2億97百万円及び減価償却費92百万円を計上した一方、営業貸付金20億55百万円、仕掛販売用不動産5億52百万円及び法人税等の納税により2億12百万円の支払いがそれぞれされたことなどによるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、37億59百万円の支出となりました。これは主に、不動産取得により39億52百万円を支出した一方、新規賃貸先から保証金として2億15百万円が入金されたことなどによるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、63億43百万円の収入となりました。これは主に、短期借入金の純増47億円、長期借入金の借入による収入20億及び新株予約権の行使による株式の発行による収入23百万円を計上した一方で、長期借入金の返済により2億72百万円、借入金の新規借入により初期費用73百万円及び自己株式の取得により34百万円を支出したことなどによるものであります。

#### (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について、重要な変更はありません。

#### (5) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	192,000,000
計	192,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在発行数 (株) (2019年11月8日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	85,672,318	85,672,318	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株で あります。
計	85,672,318	85,672,318		

(注) 提出日現在発行数には、2019年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年7月1日～ 2019年9月30日	150,000	85,672,318	12,045	4,286,923	12,045	3,405,830

(注) 発行済株式総数、資本金及び資本準備金の増加は、新株予約権の行使によるものであります。

## (5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の総数 に対する所有 株式数の割合 (%)
カタリスト株式会社	東京都豊島区長崎6-22-2	32,394	37.89
須田 忠雄	群馬県桐生市	8,125	9.50
田辺 順一	東京都豊島区	5,863	6.85
株式会社スプラウト	東京都千代田区外神田2-4-4 5F	5,116	5.98
株式会社悠晴	東京都立川市錦町1-7-32	5,000	5.84
杉山 昌子	千葉県松戸市	3,700	4.32
幅田 昌伸	京都府京都市左京区	3,307	3.86
株式会社ウォーターフィールド	東京都渋谷区恵比寿3-16-10	2,951	3.45
ゴールドマンサックス証券株式 会社	東京都港区六本木6-10-1	2,079	2.43
株式会社やすらぎ	群馬県桐生市錦町3-1-25 403	1,174	1.37
計		69,712	81.54

## (6) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 178,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 85,487,400	854,874	
単元未満株式	普通株式 6,918		
発行済株式総数	85,672,318		
総株主の議決権		854,874	

## 【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) JALCOホールディングス株 式会社	東京都中央区日本橋二丁 目16番11号	178,000		178,000	0.20
計		178,000		178,000	0.20

## 2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、みかさ監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	550,421	798,880
信託預金	161,596	147,099
営業貸付金	1,541,000	3,596,000
仕掛販売用不動産		552,719
未収入金	2,089	7,249
未収収益	10,238	1,726
未収消費税等	113,271	88,212
未収還付法人税等	2,473	174,750
その他	17,594	59,085
貸倒引当金	8,520	20,850
<b>流動資産合計</b>	<b>2,390,164</b>	<b>5,404,875</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	1,418,846	1,414,894
信託建物(純額)	1,738,872	2,891,566
工具、器具及び備品(純額)	3,208	2,341
土地	9,764,962	10,845,817
信託土地	3,708,913	5,351,915
<b>有形固定資産合計</b>	<b>16,634,804</b>	<b>20,506,534</b>
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	27,908	27,602
電話加入権	284	284
<b>無形固定資産合計</b>	<b>28,192</b>	<b>27,886</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	189,827	180,936
破産更生債権等	171,730	171,730
長期未収入金	87,767	85,340
差入保証金	24,268	24,516
長期前払費用	77,204	101,001
繰延税金資産	96,790	113,461
その他	44,198	44,335
貸倒引当金	259,498	257,070
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>432,289</b>	<b>464,251</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>17,095,286</b>	<b>20,998,673</b>
<b>繰延資産</b>		
株式交付費	10,990	8,992
<b>繰延資産合計</b>	<b>10,990</b>	<b>8,992</b>
<b>資産合計</b>	<b>19,496,442</b>	<b>26,412,540</b>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
短期借入金	1,150,000	5,850,000
1年内返済予定の長期借入金	449,292	579,316
未払法人税等	49,522	70,993
前受金	80,392	86,361
信託前受金	18,690	18,921
匿名組合預り金	121,411	121,397
その他	20,340	27,007
流動負債合計	1,889,648	6,753,998
<b>固定負債</b>		
長期借入金	8,211,969	9,809,671
長期預り保証金	561,250	776,832
信託預り保証金	106,592	106,592
その他	407	335
固定負債合計	8,880,220	10,693,432
負債合計	10,769,869	17,447,430
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	4,274,877	4,286,923
資本剰余金	5,439,112	5,451,158
利益剰余金	1,064,962	806,589
自己株式	50	34,845
株主資本合計	8,648,976	8,896,646
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	16,673	25,564
その他の包括利益累計額合計	16,673	25,564
新株予約権	94,269	94,028
純資産合計	8,726,572	8,965,110
負債純資産合計	19,496,442	26,412,540

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	532,358	807,676
売上原価	91,248	149,128
売上総利益	441,109	658,548
販売費及び一般管理費	173,821	177,754
営業利益	267,288	480,793
営業外収益		
受取利息		64
受取配当金	8,172	7,884
為替差益	5,745	
受取賃貸料	3,208	3,208
貸倒引当金戻入額	-	2,427
その他	456	944
営業外収益合計	17,582	14,530
営業外費用		
支払利息	97,627	133,645
賃貸不動産経費	752	746
為替差損		2,547
借入手数料	15,832	51,686
株式交付費償却		1,998
貸倒引当金繰入額	5,796	
その他	859	4,631
営業外費用合計	120,867	195,255
経常利益	164,003	300,068
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益	164,003	300,068
匿名組合損益分配額	1,790	2,121
税金等調整前四半期純利益	162,212	297,947
法人税、住民税及び事業税	38,500	56,244
法人税等調整額	19,843	16,670
法人税等合計	18,657	39,573
四半期純利益	143,555	258,373
親会社株主に帰属する四半期純利益	143,555	258,373

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	143,555	258,373
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,977	8,891
その他の包括利益合計	1,977	8,891
四半期包括利益	141,577	249,482
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	141,577	249,482

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	162,212	297,947
減価償却費及びその他の償却費	52,287	92,216
貸倒引当金の増減額(は減少)	18,759	9,902
受取利息及び受取配当金	8,247	7,949
支払利息	97,627	133,645
借入手数料	15,832	51,686
信託預金の増減額(は増加)	2,322	14,496
売上債権の増減額(は増加)	1,515	8,512
営業貸付金の増減額(は増加)	2,281,497	2,055,000
仕掛販売用不動産の増減額(は増加)		552,719
その他	126,815	27,453
小計	1,820,049	1,979,810
利息及び配当金の受取額	8,247	7,949
利息の支払額	95,305	153,890
法人税等の還付額	2,432	2,369
法人税等の支払額	97,377	212,463
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,002,052	2,335,844
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	16,742	3,952,937
無形固定資産の取得による支出	5,000	5,720
差入保証金の差入による支出	600	497
預り保証金の受入による収入		215,582
長期前払費用の取得による支出	700	3,826
その他	11,864	11,935
投資活動によるキャッシュ・フロー	34,906	3,759,334

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（は減少）	2,690,000	4,700,000
長期借入れによる収入	4,303,000	2,000,000
長期借入金の返済による支出	635,419	272,274
社債の発行による収入	200,000	
社債の償還による支出	200,000	
借入手数料の支払額	19,910	73,142
匿名組合員からの出資払込による収入	121,000	121,000
匿名組合員への出資払戻による支出	106,100	121,000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	913,607	23,850
自己株式の取得による支出		34,794
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,886,178	6,343,638
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	150,780	248,459
現金及び現金同等物の期首残高	457,043	407,550
現金及び現金同等物の四半期末残高	306,262	656,009

## 【注記事項】

## (四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
給料及び手当	25,802千円	31,187千円
役員報酬	29,870千円	28,440千円
支払手数料	28,131千円	24,210千円
租税公課	16,484千円	19,922千円
貸倒引当金繰入額	12,962千円	12,330千円

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
現金及び預金勘定	449,133千円	798,880千円
預入期間が3か月を超える定期預金	142,871千円	142,871千円
現金及び現金同等物	306,262千円	656,009千円

## (株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

## 1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

## 2. 株主資本の金額の著しい変動

第2回新株予約権の権利行使による新株発行に伴い、当第2四半期連結累計期間において資本金が461,291千円、資本準備金が461,291千円それぞれ増加しました。

また、2018年6月27日開催の第7回定時株主総会の決議により、同日付で資本準備金を888,317千円減少し、その同額をその他資本剰余金に振り替えた後、同日付でその他資本剰余金を888,317千円減少し、その同額を繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行っております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が2,566,738千円、資本剰余金が3,730,973千円、利益剰余金が1,330,388千円となっております。

当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

## 1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

## 2. 株主資本の金額の著しい変動

第3回新株予約権の権利行使による新株発行に伴い、当第2四半期連結累計期間において資本金が12,045千円、資本準備金が12,045千円それぞれ増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が4,286,923千円、資本剰余金が5,451,158千円となっております。

また、2019年8月9日開催の取締役会決議に基づき、自己株式177,600株の取得を行っております。この結果、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が34,794千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が34,845千円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	貸金事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	181,904	350,053	531,957	400	532,358	-	532,358
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	181,904	350,053	531,957	400	532,358	-	532,358
セグメント利益 又は損失( )	106,947	124,383	231,331	7,553	223,778	59,775	164,003

- (注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電子部品のブランド使用料、中古遊技機売買サイトに係るシステムの減価償却費及び運営費並びにM&A事業に係るデューデリ費用等であり、また、
2. セグメント利益又は損失の調整額 59,775千円は、内部取引消去62,089千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 121,864千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	貸金事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	198,616	608,700	807,317	359	807,676	-	807,676
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	198,616	608,700	807,317	359	807,676	-	807,676
セグメント利益 又は損失( )	121,648	212,883	334,531	2,088	332,442	32,374	300,068

- (注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電子部品のブランド使用料、中古遊技機売買サイトに係るシステムの減価償却費及び運営費であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額 32,374千円は、内部取引消去85,184千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 117,558千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## ( 1 株当たり情報 )

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2018年 4 月 1 日 至 2018年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2019年 4 月 1 日 至 2019年 9 月 30 日)
( 1 ) 1 株当たり四半期純利益金額 ( 円 )	2 円 69 銭	3 円 2 銭
( 算定上の基礎 )		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 ( 千円 )	143,555	258,373
普通株主に帰属しない金額 ( 千円 )		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額 ( 千円 )	143,555	258,373
普通株式の期中平均株式数 ( 千株 )	53,329	85,558
( 2 ) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額 ( 円 )	2 円 49 銭	2 円 72 銭
( 算定上の基礎 )		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 ( 千円 )		
普通株式増加数 ( 千株 )	4,241	9,533
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

## 2 【その他】

該当事項はありません。

**第二部 【提出会社の保証会社等の情報】**

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月8日

JALCOホールディングス株式会社

取締役会 御中

みかさ監査法人

指定社員  
業務執行社員

公認会計士 伊藤 修平 印

指定社員  
業務執行社員

公認会計士 安田 幸一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているJALCOホールディングス株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、JALCOホールディングス株式会社及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。